

なかつか 亮

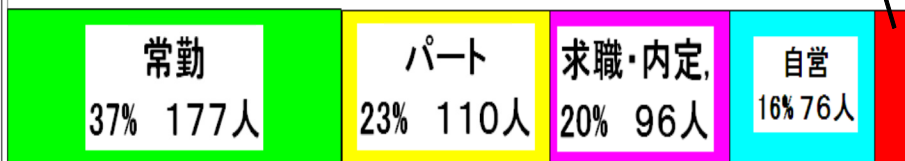


今年も深刻！保育園に入れない、5年連続で400人超

認可保育園増設で待機児解消を

今年4月 認可保育園入園不可 478人の内訳

その他4%
19人



3月16日暫定値 転園希望など82人含む(人数は割合より歳出)

品川区議会では予算特別委員会が3月19日に終了し、23日に最終本会議が開かれます。共産党は、首都直下大震災を見込んだ品川の防災対策作成や認可保育園・特養ホームの増設など防災と福祉の充実、若者就労支援の充実などを求めました。また小学5年生からの柔道必修化や学校選択性による地域の希薄化、都市計画道路29・31号線推進など問題点を指摘し見直しを求めました。共産党が取り上げた質問を順次、紹介します。今回は保育園と特養ホームです。

昨年より72人増 さらに悪化

19日総括質疑にて今年4月の認可保育園入園状況がわかりました。入園通知を受け取れなかった子ども数は478人(暫定値)。8割は0〜2歳児で、昨年4月より72名も増えました。今年4月は新たに6園が開設しましたが、まだまだ足りない状況。これで4月に400名が入れない事態は、なんと5年連続です。

入園できなかった子どもの保護者について常勤37%、パート23%、求職・内定は20%など(上参照)。割合を人数で換算すると、常勤・パートでは287人と、まさに「入園できなければ仕事を失う」状況。求職中や仕事の内定が決まっている方は96名とは「子どもが入園できなければ仕事も決まらないう」せつなく決まった仕事の内定も失う「状態です」。

共産党はこの実態を告発し「さらなる認可保育園の増設で、希望者全員の入園を」と求めました。

特養ホーム 9割が入れない

	申し込者	入所者	入所できなかった人
要介護5	92人	11人	81人
要介護4	157人	22人	135人
要介護3	178人	29人	149人
要介護2	88人	5人	83人
要介護1	76人	0人	76人



昨年8月末の申込み者591人で、今年3月までに入所できた方の介護度別人数（区答弁より作成）

特養ホーム入所状況も明らかにになりました。申込者591人で入所した高齢者は67人。介護度別では要介護5で入所は1割（上参照）と9割が入れない状況。年齢は100歳以上は6人中3人、90代は126人中105人、80代は283人中253人が入れませんでした。特養ホーム増設は3ヶ所を具体化させました（一つは昨年完成）、入所状況の改善と、今後の高齢者人口増に見合う増設が必要です。区は「いつまでに、いくつ作るかを示すのはいくつ作るかを示すのはいくつ作るか」と答弁。入所を待っている家族にとつてはその計画こそ意味があるのです。さらなる増設を強く求めます。なかつか亮

放射線測定器貸し出し延長へ

3月30日まで予定されていた放射線測定器の貸し出しが、延長されることになりました。3月12日の予算委員会にて共産党の要望に、品川区が説明したものです。

貸し出しについては、特に子育て世代からの申込みが多く、土日の貸し出しはあっという間に一杯。延期について、区は「不安に応えたい」と説明します。4月の貸し出しは9日からです。

予約専用電話5742-6581（品川区）

都市計画道路 29号線・31号線 自民・公明・民主が推進要望 品川区「積極的に働きかける」

品川区議会では、29・31号線について、自・公・民から推進を求める意見が相次ぎ、区も「実現に向け積極的に都に働きかける」と呼応しました。

共産党は10商店街と660戸の住宅を横切る道路計画は見直し、防災対策を強調するのなら住宅耐震化こそ急務と述べました。

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

4月6日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室5742-6818 夜：事務所3773-3231